

令和3年度の重点的な取組について

令和3年5月31日

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

令和3年度の重点的な取組(案)

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進

- ・コミュニケーション・ツールを使用した情報共有の推進
- ・プロジェクトの具体的な取組の推進

②多機関連携型タイムラインの推進

- ・各市町版の「多機関連携型タイムライン(素案)」を基に、関係機関と連携して、具体的な検討を進めタイムラインの活用を推進

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」の推進

【目的】

- ◆ 中讃地域における**多種多様な組織・団体が連携**することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“**避難支援体制づくり**”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“**災害に強い地域づくり**”を目指して、「**人材育成と地域連携の仕組みづくり**」を継続的に推進

【活動内容】

- ◆ 中讃地域において、プロジェクトの中核となる「**枠組み(組織、場)**」を構築することにより、**地域防災のプラットフォーム**を形成し、**地域の既存組織と広くつながる環境を整備**
- ◆ 「**人材育成プロジェクト**」と「**地域連携プロジェクト**」の具体的な活動を実施することにより、**地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成**

プロジェクトの実施テーマと組織メンバー

【実施テーマ】

『中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク』の構築・推進

キャッチコピー：“中讃地域のみんなでつながろう”

コミュニケーション・アプリ「LINE WORKS」の導入

① 人材育成プロジェクト: 地域防災リーダーの育成

② 地域連携プロジェクト: 多種多様な組織との連携

【組織メンバー】

・ 主幹メンバー: 香川県、丸亀市、まんのう町、香川県防災士会中讃支部、
香川大学(四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)、
香川河川国道事務所、高松地方気象台

注) 中讃地域の他の自治体にもメンバー拡大を予定

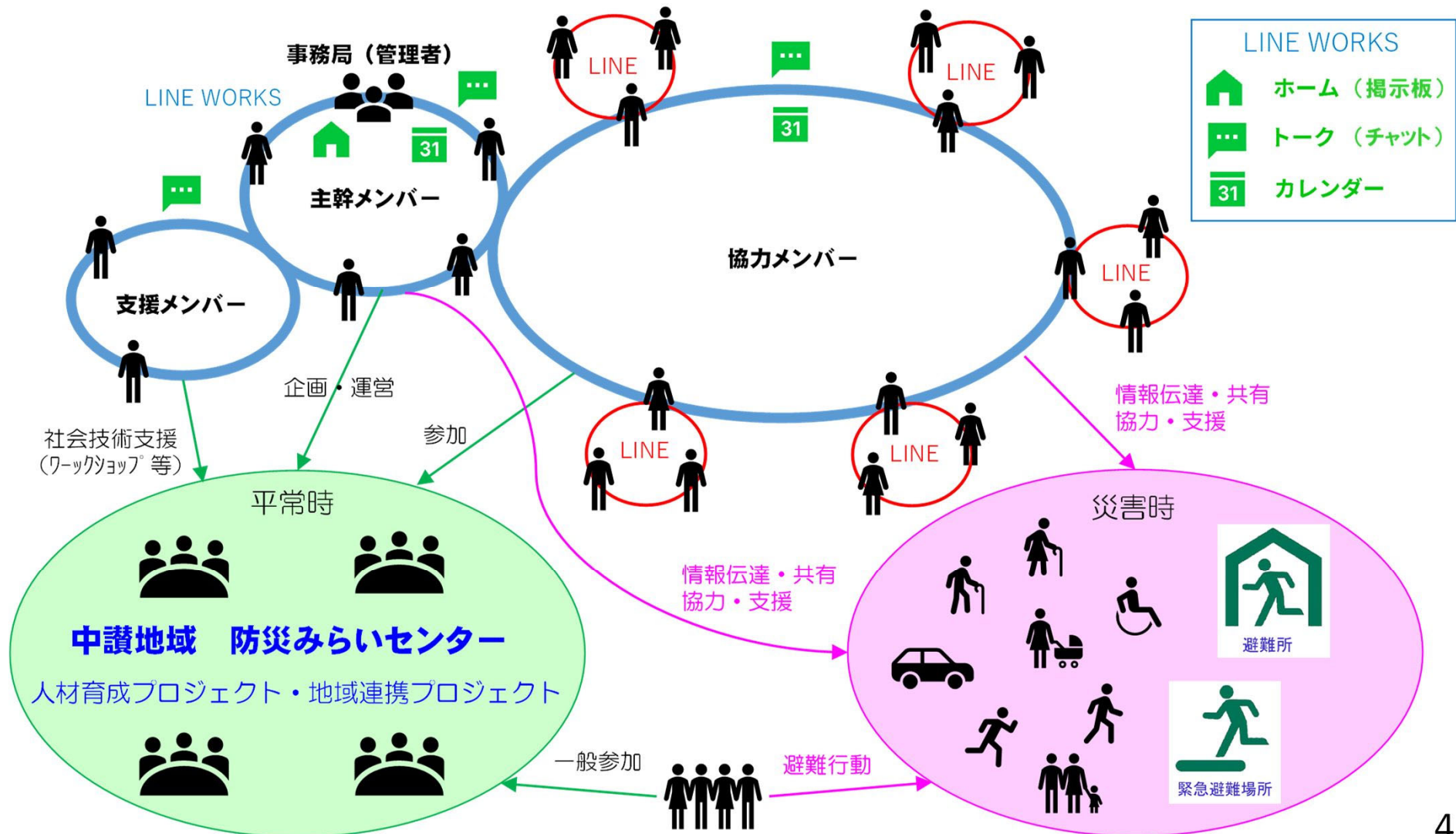
・ 協力メンバー: 地域防災関連組織、社会福祉関連組織、まちづくり推進組
織、NPO団体、ライフライン事業者、民間企業 など

・ 支援メンバー: 徳島大学人と地域共創センター(ワークショップ等の社会技
術の支援)など

「LINE WORKS」によるコミュニケーション・ネットワーク

【目的】: 多機関連携ネットワーク機能の確保

【ネットワーク機能の内訳】: メンバー間の調整、メンバー間の情報交換(掲示板)、動的な情報共有(チャット)、静的な情報共有(クラウド、アーカイブ情報)



②多機関連携型タイムラインの推進

- 中讃地域の単位で、香川県と連携して、多機関連携型タイムラインの活用を推進する。
- 金倉川、大東川の想定最大規模の浸水想定区域図も反映する。

水害対応タイムライン

避難指示等着目型タイムライン

市町村長による避難指示等の発令に着目して、河川管理者と市町村等が協力して作成・運用する。

多機関連携型タイムライン

迅速かつ効率的な防災行動の実施を目指し、河川管理者、市町村、気象台等に加え、様々な関係者による多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して作成・運用する。

平成29年2月作成済み

市町	対象河川
丸亀市	土器川
坂出市	大東川(土器川の情報追加)
善通寺市	金倉川(土器川の情報追加)
宇多津町	土器川、大東川
琴平町	土器川、金倉川
多度津町	金倉川(土器川の情報追加)
まんのう町	土器川

- 各市町版タイムライン(素案)を基に、**香川県と連携して検討**する。

対象となる関係機関(案)

機関名	対象となる関係機関
防災関係機関	警察、消防本部、消防団、 自衛隊
ライフライン	四国電力、NTT、 四国ガス
交通機関	JR四国、琴参バス、 琴平電鉄
要配慮者施設	協定受入施設
報道機関	テレビ放送局、ラジオ放送局

※赤字:先行作成の「丸亀市版(案)」では対象外

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、土器川直轄河川管理区間沿川における丸亀市の様々な関係者による多様な防災行動を対象とした多機関連携型タイムライン(案)

↓(参考)過去洪水における時間

